

エフアイNEWS < シリーズトコトン61 >

トコトン求める。

日本の美を彩る ”桜—SAKURA—”エキス (神奈川県小田原市)

<訪問者> 代表取締役 塩谷 知明

桜の花エキスに使われる桜は、 食用品種の“関山 (かんざん)”



日本の美を象徴する「SAKURA」桜は富士山と並んで、日本はもとより、海外においても日本の美をイメージさせる代表的な春の到来を告げる花であり、入学や就職などの新生活のスタート時期に咲くことから、希望に満ち溢れたイメージを想起させる花の代表格といってもよいでしょう。あてやかな中にも気品があり、日本の伝統美を想起させる桜。今回はそんな桜から見つかった、美や健康によい機能性についてご紹介していきます。

(左) ソメイヨシノ
(右) 八重桜

<桜の塩漬け>



八重桜「関山」

日本の代表的な桜といえ
ば「ソメイヨシノ」です
が、ソメイヨシノの花が
散り、何だか少し寂しい
気分になった頃に咲き始
めるのが「八重桜」です。
八重桜は、一つの花弁に
幾重にも花びらをまとい、
その数は20枚以上、多
い場合は50枚を超える
こともある華やかさが特
徴の桜です。食用として
よく見かける桜の塩漬け
には、八重桜の「関山
(かんざん)」という品
種が主に使われます。八
重桜の代表種で、今回ご
紹介する「桜の花エキ
ス」もこの関山を使用し
て作られています。





●ひと花ひと花手摘みで収穫
八重桜である関山は、小田原市東部の橘地区から、北隣の中井町や秦野市千村地区一帯で栽培されています。実に全国の80〜90%が小田原で生産されており、小田原は隠れた日本一の産地となっています。花の収穫時期は短く、満開になる前の4月中旬から、下旬にかけてのわずか2週間程度。花びらに紫外線などのストレスがかかりにくい、早朝5時頃から昼頃までに集中して、ひと花ひと花手摘みで収穫していきます。

全国の80〜90%※を生産。 日本一の桜の産地“小田原”

※関山の生産量

●桜の語源は「コノハナノサクヤビメ（木花咲耶姫）」
日本書紀の神話に登場するニギノミコトは、農耕の神として信仰され、妻であるコノハナノサクヤビメは豊穡の神と解釈されています。これは、桜の花が日本の初期農耕社会において、その年の農事を占う花であったことから生まれた神話であったと考えられています。また、コノハナノサクヤビメは富士山の神様としても知られ、日本全国で約1300社ある浅間神社で主祭神として祭られており、ご神木として桜が奉納されています。



空本印集『木花咲耶姫』(1929年) 京都府立空本印集美術館蔵



●秘められた桜の美容効果。
美肌にも健康にも効く！
桜の花エキスには、糖化の働きを抑える以外にも、美肌や美白、動脈硬化の防止など、美や健康のため

め様々な働きが知られています。また、桜の香りもアロマに使用されるなど、まだまだ知られていない効果があるとされ、今後も益々注目を集めていきそうです。

通常、収穫した桜の花は色を保つために塩漬けにされますが、桜の花エキスに使用する桜は即冷凍し、その都度解凍して使用しているため、余計な塩分は含みません。

京都薬科大学との共同研究により、 続々と明らかになったスゴイ美容効果とは！

老化の原因である「糖化」を防ぐ働きがあります。

今、老化を促進する要因として注目されている「糖化」。活性酸素による酸化が「体のサビ」と言われるのに対して、糖化は「体のコゲ」とも呼ばれています。糖化は、食事などから摂った余分な糖質が体内のたんぱく質などと結びついて、細胞などを劣化させる現象。糖化は、発見した人の名前を取ってメイラード反応とも呼ばれます。これが進むと肌のシワやくすみ、シミなどとなって現れます。それだけでなく、糖化によってつくられるAGE（糖化最終生成物）は内臓をはじめとする体内組織に作用して、多くの病気の原因となることが知られています。最近の研究で、桜の花エキスはこのAGEsを抑制してくれることが分かりました。

肌の糖化のイメージ→



焼く前の
ふわふわのパン



こんがりこげて
固くなったパン

エファイTOPICS①

エファイ注力カテゴリー

飲む育毛剤「育毛サプリメント」企画

人は見た目で9割印象が決まる！とも言われる中、エファイでは体にアプローチする『飲む育毛剤』に注目しています。塗布タイプと同時に使用すれば効果は倍増！発毛を促すだけでなく、抜け毛予防にも繋がります。育毛サプリメントは自分の薄毛タイプにあったタイプを選ぶ事が大事です。

O型タイプは、ジヒドロテストステロンという男性ホルモンが原因。血流を促進させる成分やノコギリヤシ、亜鉛などが効果的とされています。

M字タイプは、テストステロンという男性ホルモンが変性した“DHT”が原因。ノコギリヤシ、亜鉛、マルチビタミン、イソフラボンなどが効果的とされています。

女性の髪の毛の悩みやトラブルは、女性ホルモンが原因になるため、イソフラボンや亜鉛、マルチビタミンなどが効果的に働きます。

この様に“育毛”と一口に言っても、年齢や性別など、ターゲットにより必要な成分は異なります。エファイでは育毛に効果的な機能性素材の企画開発に注力しておりますので、ぜひお気軽にお問い合わせください。



エファイ養蜂園

今年もハチの季節がやってきました！

「桜とミツバチ」

春になり暖かくなると、いまままで冬眠していたミツバチ達が動き出します。繁殖期である4~5月になると、雄バチが生まれ、自分の巣の上空で繁殖活動を行います。そして女王バチによって巣内の「王台」と呼ばれる育児室に産卵が行われます（産卵は女王バチのみが行い、1日1,000~1,500個程度産卵します）。産卵された1つの卵が新女王バチとなり、新女王バチが育つと旧女王バチは巣内の約半数の働きバチを連れて巣わかれ（分蜂）します。春から夏にかけては、育児が盛んな時期で、訪花活動も盛んです。エファイ養蜂園のミツバチ達も盛んに飛び回っており、ハチミツの収穫が今から楽しみです。



桜の花の蜜でできたハチミツもあります。桜が咲く時期は短く、まだ気温も低い時期なので、ハチの活動が鈍く、桜の蜜を採取



することは非常に難しいのです。桜のハチミツの上品でさらりとした甘さは、ほがらかな春を感じます。

京都三条にある蜂蜜専門店「ミール・ミィ」の春限定商品

エファイTOPICS②

あなたや、あなたの周りの人は大丈夫ですか？

季節による不調「五月病」

五月病とは、大学生や社会人が新しい環境に順応しようとしてストレスを感じ始めるため、5月の連休明けごろから夏にかけて起こります。



<五月病リスクが高い人>

- ・春に転職、転勤、移動があった人
- ・社内体制が変わり、職場の雰囲気や仕事の進め方が変わった人
- ・プライベートがかなり慌しかった人

<五月病の症状>

- ・何となく気分がめいるが増える
- ・家事や趣味が面倒くさい
- ・原因不明の体調不良
- ・寝つきが悪い、熟睡できない

<五月病を解消するには>

- ・10回の腹式呼吸でストレス軽減
- ・ウォーキングなどの運動
- ・ストレスに負けない食生活



五月病かなと思ったら、まずはとにかく気分転換やリラックスできることをしてみましょう。これらは五月病の予防法でもあります。それでも回復しなければ、無理をせずに早めに病院へ行くことも大切です。

エファイ健康コラム

コラーゲン増量や食感工夫で女性に人気。

市場規模は10年で2倍に！大人のお菓子「グミ」

お菓子のグミが、健康や美容を気遣う女性を中心に人気を集めています。グミは、コラーゲンを含むゼラチンが材料になっているだけでなく、果物そのものを食べているようなジューシーな感覚が受け、市場規模は2017年までの10年間で約2倍に膨らむほど勢いがあります。

理由は①コラーゲンはもちろん、ビタミンCや鉄などの補給による“美容効果”、②固いグミを噛むことで空腹を紛らわすと同時に、アゴの筋肉を鍛え小顔になるなど“ダイエット効果”、そして③簡単にどこでも

食べられる手軽さにあります。スナック菓子のように手が汚れないため、職場で食べる人が増えたことも背景にあるようです。とはいえ糖質の多い

グミは食べすぎに注意！おやつに上手に取り入れ、美味しく楽しくいただきましょう！



アルデンテの食感
フェッチーネグミ
(プルボン)



果実のような食感
コロロ (UHA味覚糖)



ハートの形がかわいい
ピュレグミ (カンロ)